

GIGAスクール構想のもとでの 小学校特別の教科道徳の指導について

GIGAスクール構想のもとでの道徳科の指導において ICTを活用する際のポイント

道徳科の目標

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

道徳科の授業では、答えが一つではない道徳的な課題を一人一人の子供たちが自分自身の問題と捉え、向き合う、「考え、議論する道徳」への転換、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの改善が求められる。

令和の日本型学校教育

こうした学習がより効果的に行われるようにするための手段としてICTの活用が考えられ、全ての子供たちの可能性を引き出す。

個別最適な学び

協働的な学び

道徳科の授業におけるICTの効果的な活用

一般的な道徳科の学習指導過程におけるICT活用例

段階	学習の目的	主な学習活動	ICTの活用例
導入	・実態や問題を知る。	・道徳的価値について、問題意識をもつ。	・実態や問題の提示 (画像や映像、グラフ等)
展開	・教材を活用して、道徳的価値を理解し、よりよい生き方を考える。	・自分自身との関わりで考える。 ・多面的・多角的に考える。 ・自己の(人間としての)生き方についての考えを深める。	・教材の提示 (画像や映像等) ・自分の考えをもつ (ICT端末に示す) ・他者の考えを知る (ICT端末に共有する) (表やグラフ等) ・話し合う(直接的な対話) ・自己を見つめる (ICT端末に蓄積する)
終末	・よりよい生き方の実現への思いや願いを深める。	・道徳的価値についての自己実現への意欲を高める。	・生活の様子の提示 (画像や映像等) ・外部の方の言葉の提示 (画像や映像等)